

平成23年度 財政状況資料集

総括表（都道府県）

都道府県名	青森県		職員の状況				区分		平成23年度(千円)	平成22年度(千円)	区分		平成23年度(千円・%)	平成22年度(千円・%)
			区分	定数	1人あたり平均 給料月額(百円)		歳入総額	歳出総額	実質収支比率					
グループ	D		特別職等	知事	1	10,160		786,232,246	743,009,601	0.7	0.8			
				副知事	2	8,730		764,532,145	727,316,129	96.2	92.3			
				教育長	1	7,380		21,700,101	15,693,472	(※1)	(109.9)	(109.2)		
				議会議長	1	8,645		19,093,808	12,735,736	標準財政規模	390,394,239	394,028,347		
人口	22年国調(人)	1,373,339	一般職員等	議会副議長	1	7,776		2,606,293	2,957,736	財政力指数	0.30706	0.31597		
	17年国調(人)	1,436,657		議会議員	46	7,566		単年度収支	-351,443	1,431,361	公債費負担比率	24.2	24.0	
	増減率(%)	-4.4		積立金		17,070		繰上償還金		1,818,472	健全化判断比率			
住民基本台帳人口	24.03.31(人)	1,383,043	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	積立金取崩し額	1,750,130	1,595,881	実質赤字比率	-	-		
	23.03.31(人)	1,395,886	一般職員	5,627	18,951,736	3,368	実質単年度収支	-2,084,503	3,899,463	連結実質赤字比率	-	-		
	増減率(%)	-0.9	うち消防職員	-	-	-	基準財政収入額	96,257,911	90,856,050	実質公債費比率	18.0	18.1		
面積(km ²)	9,645		うち技能労務職員	438	1,351,230	3,085	基準財政需要額	315,692,149	307,172,452	将来負担比率	195.0	204.3		
人口密度(人/km ²)	143		警察官	2,245	7,233,390	3,222	標準税収入額等	122,104,933	114,721,022	資金不足比率(※4)				
世帯数(世帯)	513,385		教育公務員	11,203	43,336,223	3,868	經常経費充当一般財源等	375,867,314	375,486,901					
臨時職員			臨時職員	-	-	-	歳入一般財源等	495,442,859	500,475,085	地方債現在高	1,325,779,052	1,329,893,896		
			合計	19,075	69,521,349	3,645	うち公的資金	463,524,836	473,031,507	債務負担行為額(支出予定額)	42,535,068	55,186,220		
			ラスバイレス指数(※5)	107.7		(99.5)		収益事業収入	4,531,118	4,111,791	収益事業収入	4,531,118	4,111,791	
							定額運用基金	20,340,446	20,339,004	定額運用基金	20,340,446	20,339,004		
							土地開発基金	12,573,000	12,573,000	土地開発基金	12,573,000	12,573,000		
							積立金現在高	6,916,051	7,389,882	財政調整金	6,916,051	7,389,882		
							減債基金	15,582,365	15,549,060	減債基金	15,582,365	15,549,060		
							その他特定目的基金	76,134,928	69,394,965	その他特定目的基金	76,134,928	69,394,965		

一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番	会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)
(1)	一般会計	(11)	青森県駐車場事業特別会計	(12)	青森県病院事業会計	(14)	青森県下水道事業特別会計	(16)	青森県新産業都市建設事業団	(17)	青い森鉄道株式会社	
(2)	青森県公債費特別会計			(13)	青森県工業用水道事業会計	(15)	青森県港湾整備事業特別会計			(18)	むつ湾フェリー株式会社	
(3)	青森県肢体不自由児施設特別会計									(19)	八戸臨海鉄道株式会社	
(4)	青森県証紙特別会計									(20)	財産法人青森県生活衛生営業指導センター	
(5)	青森県管理特別会計									(21)	財団法人21あおり産業総合支援センター	○
(6)	青森県鉄道施設整備事業特別会計									(22)	財団法人むつ小川原地域・産業振興財団	
(7)	青森県母子寡婦福祉資金特別会計									(23)	むつ小川原原燃興産株式会社	
(8)	青森県小規模企業者等設備導入資金特別会計									(24)	むつ小川原石油備蓄株式会社	
(9)	青森県就農支援資金特別会計									(25)	社団法人青い森農林振興公社	○
(10)	青森県林業・木材産業改善資金特別会計									(26)	社団法人青森県青果物価格安定基金協会	

(注釈) ※1：經常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5：ラスバイレス指数の()内の数値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。

(1) 普通会計の状況（都道府県）

歳入の状況（単位 千円・％）				都道府県税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	131,208,832	16.7	100,937,410	29.5	普通税	131,014,675	99.9	350,334
地方譲与税	19,052,830	2.4	19,052,830	5.6	法定普通税	116,396,960	88.7	350,334
地方揮発油譲与税	3,010,378	0.4	3,010,378	0.9	道府県民税	34,410,059	26.2	350,334
地方道路譲与税	13	0.0	13	0.0	個人均等割	585,378	0.4	-
特別とん譲与税	-	-	-	-	所得割	28,931,023	22.0	-
石油ガス譲与税	211,789	0.0	211,789	0.1	法人均等割	1,264,251	1.0	-
航空機燃料譲与税	24,622	0.0	24,622	0.0	法人税割	2,830,558	2.2	350,334
地方法人特別譲与税	15,806,028	2.0	15,806,028	4.6	利子割	551,923	0.4	-
市町村たばこ税都道府県交付金	-	-	-	-	配当割	206,214	0.2	-
地方特例交付金	1,172,605	0.1	1,172,605	0.3	株式等譲渡所得割	40,712	0.0	-
児童手当及び子ども手当特例交付金	835,157	0.1	835,157	0.2	事業税	14,353,735	10.9	-
減収補填特例交付金	337,448	0.0	337,448	0.1	個人分	778,473	0.6	-
地方交付税	250,279,966	31.8	219,477,421	64.2	法人分	13,575,262	10.3	-
普通交付税	219,477,421	27.9	219,477,421	64.2	地方消費税	26,736,444	20.4	-
特別交付税	15,399,480	2.0	-	-	不動産取得税	2,176,764	1.7	-
震災復興特別交付税	15,403,065	2.0	-	-	道府県たばこ税	3,506,746	2.7	-
(一般財源計)	401,714,233	51.1	340,640,266	99.6	ゴルフ場利用税	154,403	0.1	-
交通安全対策特別交付金	465,154	0.1	465,154	0.1	自動車取得税	1,889,498	1.4	-
分担金・負担金	4,969,249	0.6	-	-	軽油引取税	14,859,015	11.3	-
使用料	7,397,610	0.9	466,065	0.1	自動車税	17,303,962	13.2	-
手数料	2,428,382	0.3	-	-	鉱区税	4,077	0.0	-
国庫支出金	138,497,112	17.6	-	-	固定資産税特例	1,002,257	0.8	-
国有提供交付金	-	-	-	-	法定外普通税	14,617,715	11.1	-
財産収入	1,501,815	0.2	94,234	0.0	目的税	193,440	0.1	-
寄附金	297,168	0.0	-	-	法定目的税	20,125	0.0	-
繰入金	33,913,421	4.3	-	-	狩猟税	20,125	0.0	-
繰越金	14,434,243	1.8	-	-	法定外目的税	173,315	0.1	-
諸収入	82,248,648	10.5	219,624	0.1	旧法による税	717	0.0	-
地方債	98,365,211	12.5	-	-	合計	131,208,832	100.0	350,334
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	48,811,800	6.2	-	-				
歳入合計	786,232,246	100.0	341,885,343	100.0				

歳出の状況（単位 千円・％）				
目的別歳出の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	1,250,944	0.2	-	1,250,944
総務費	66,857,855	8.7	17,877,293	49,384,344
民生費	97,225,208	12.7	4,698,082	71,703,750
衛生費	38,906,217	5.1	11,788,766	16,716,888
労働費	21,004,564	2.7	746,159	1,029,400
農林水産業費	64,313,919	8.4	34,383,170	19,837,871
商工費	75,413,097	9.9	7,743,759	8,936,894
土木費	73,776,434	9.6	57,348,799	27,440,825
警察費	31,001,485	4.1	1,564,252	28,816,698
消防費	-	-	-	-
教育費	148,978,009	19.5	6,309,676	117,939,667
災害復旧費	8,460,431	1.1	-	3,574,308
公債費	122,213,924	16.0	-	119,692,391
諸支出費	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
利子割交付金	306,377	0.0	-	306,377
配当割交付金	122,680	0.0	-	122,680
株式等譲渡所得割交付金	24,179	0.0	-	24,179
地方消費税交付金	13,314,689	1.7	-	13,314,689
ゴルフ場利用税交付金	106,806	0.0	-	106,806
特別地方消費税交付金	-	-	-	-
自動車取得税交付金	1,255,327	0.2	-	1,255,327
軽油引取税交付金	-	-	-	-
特別区財政調整交付金	-	-	-	-
歳出合計	764,532,145	100.0	142,459,956	481,454,038

性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	327,175,630	42.8	285,432,733	282,142,703	72.2
人件費	184,690,111	24.2	157,170,304	153,880,274	39.4
うち職員給	131,375,618	17.2	104,876,750	104,768,076	26.8
扶助費	20,285,635	2.7	8,584,078	8,584,078	2.2
公債費	122,199,884	16.0	119,678,351	119,678,351	30.6
元利償還金	122,187,576	16.0	119,666,043	119,666,043	30.6
内訳					
うち元金	102,480,055	13.4	100,181,812	100,181,812	25.6
うち利子	19,707,521	2.6	19,484,231	19,484,231	5.0
一時借入金利子	12,308	0.0	12,308	12,308	0.0
その他の経費	286,436,154	37.5	149,534,888	93,724,611	24.0
物件費	29,726,409	3.9	18,011,896	15,918,493	4.1
維持補修費	12,523,569	1.6	5,460,192	5,453,541	1.4
補助費等	126,605,697	16.6	106,908,276	71,768,619	18.4
繰出金	2,501,598	0.3	2,447,798	-	-
積立金	38,900,505	5.1	14,960,471	-	-
投資及び出資金	1,133,564	0.1	1,133,564	-	-
貸付金	75,044,812	9.8	612,691	583,958	0.1
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	150,920,361	19.7	46,486,417	-	-
うち人件費	2,272,174	0.3	1,316,754	-	-
普通建設事業費	142,459,956	18.6	42,912,135	-	-
うち補助	71,318,585	9.3	7,624,831	-	-
うち単独	57,398,440	7.5	30,973,795	-	-
災害復旧事業費	8,460,405	1.1	3,574,282	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	764,532,145	100.0	481,454,038	-	-

区分		平成23年度		平成22年度		
徴収率 (%)	現年計	合計	99.1	97.0	99.0	97.0
		道府県民税	98.1	92.3	97.8	92.3
		事業税	99.8	99.1	99.6	98.7

(注釈)
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（都道府県）

平成23年度 青森県

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	781,728	765,394	16,333	2,053	33,926	1,309,112	
2 青森県公債費特別会計	169,608	169,608	-	-	120,597	-	
3 青森県国体不自由施設特別会計	2,134	2,115	19	19	716	-	
4 青森県経路特別会計	2,649	2,540	110	110	96	-	
5 青森県管理特別会計	237	198	39	39	-	-	
6 青森県鉄道施設整備事業特別会計	5,912	5,527	385	385	901	10,924	
7 青森県母子福祉福祉資金特別会計	463	341	123	-	48	-	
8 青森県小規模企業等支援基金特別会計	10,193	5,996	4,197	-	9	20,358	
9 青森県就農支援資金特別会計	90	34	57	-	-	169	
10 青森県林業・木材産業改善資金特別会計	340	13	326	-	-	-	
11 青森県沿岸漁業改善特別会計	228	117	111	-	1	-	
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							

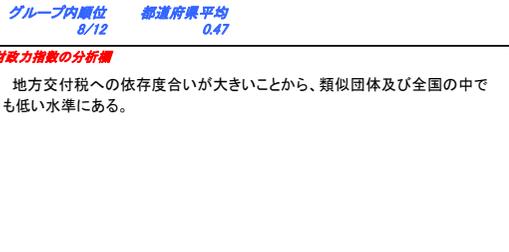
(3) 都道府県財政比較分析表(普通会計決算)

人口	1,383,043	人(H24.3.31現在)			
面積	9,644.55	km ²			
歳入総額	786,232,246	千円	実質赤字比率	-	%
歳出総額	764,532,145	千円	連結実質赤字比率	-	%
実質収支	2,606,293	千円	実質公債費比率	18.0	%
標準財政規模	390,394,239	千円	将来負担比率	195.0	%
地方債現在高	1,325,779,052	千円	グループ	H19 D H20 D H21 D	
			(年度毎)	H22 D H23 D	

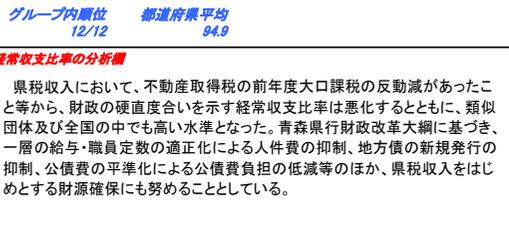
● 当該団体値
◆ グループ内平均値
T グループ内の最大値及び最小値

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
〔 Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 〕
※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

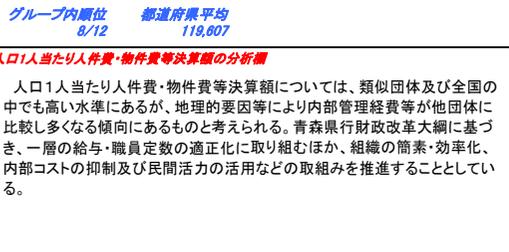
財政力 財政力指数 [0.31]



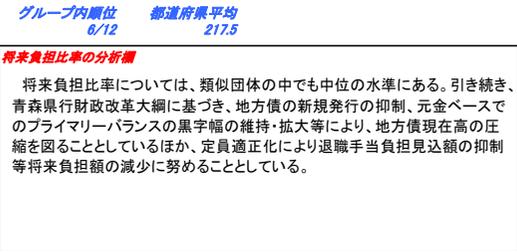
財政構造の弾力性 経常収支比率 [96.2%]



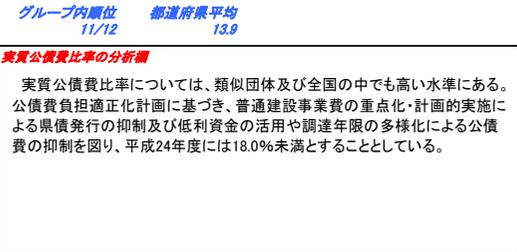
人件費・物件費等の状況 人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [152,258円]



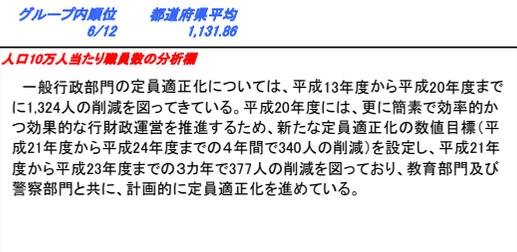
将来負担の状況 将来負担比率 [195.0%]



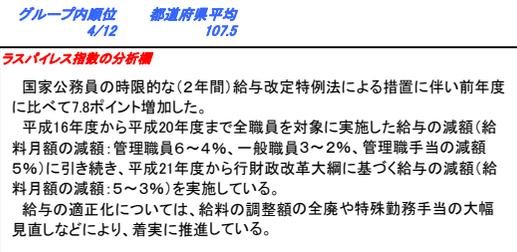
公債費負担の状況 実質公債費比率 [18.0%]



定員管理の状況 人口10万人当たり職員数 [1,379.21人]



給与水準(国との比較) ラスパイレス指数 [107.7]



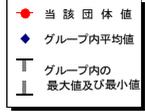
(4)-1 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

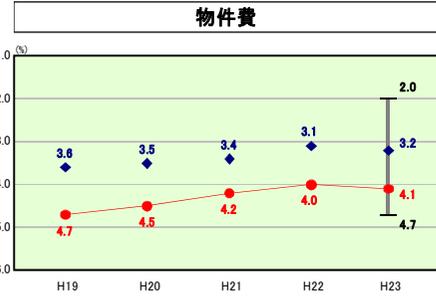
青森県

経常収支比率の分析

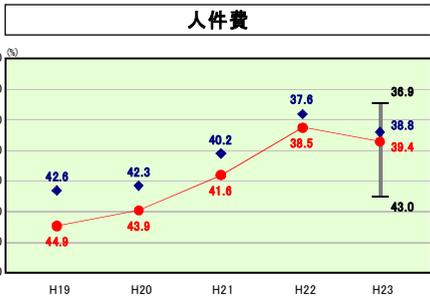
人口	1,383,043人	(H24.3.31現在)	実質赤字比率	-%	
面積	9,644.55	km ²	連結実質赤字比率	-%	
歳入総額	786,232,246	千円	実質公債費比率	18.0%	
歳出総額	764,532,145	千円	将来負担比率	195.0%	
実質収支	2,606,293	千円	グループH19 D	H20 D	H21 D
標準財政規模	390,394,239	千円	(年度毎)	H22 D	H23 D
地方債現在高	1,325,779,052	千円			



※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
 [Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満]



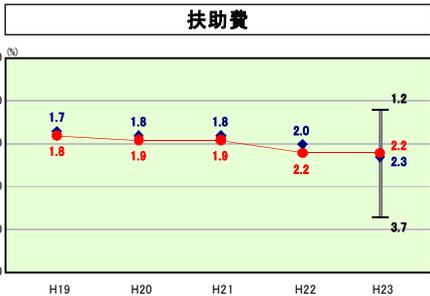
物件費の分析欄
 物件費に係る経常収支比率は、類似団体及び全国平均をともに上回っている。本県は広大な面積に加え、積雪寒冷地であることから、内部管理経費等が他団体に比較し多くなる傾向にあるものと考えられる。今後は、施策の選択と重点化を推進するとともに、青森県行財政改革大綱に基づく、組織の簡素・効率化、内部コストの抑制などの取組みを徹底・加速して推進することとしている。



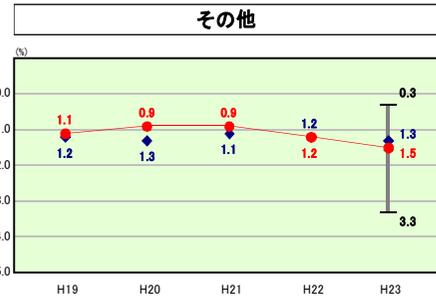
人件費の分析欄
 人件費に係る経常収支比率は、全国的には中位の水準にあるものの、類似団体の平均を上回っている。職員数の削減及び給与カット等により、人件費総額の縮減に努めているものの、団塊世代の退職に伴い退職金が高い水準で推移していることが要因と考えられる。今後は引き続き、青森県行財政改革大綱に基づき、一層の職員数・職員給与の適正化に取り組むこととしている。



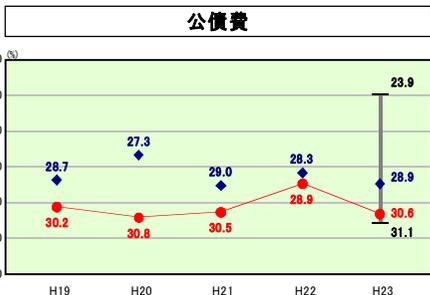
補助費等の分析欄
 補助費等に係る経常収支比率は、類似団体及び全国平均をともに下回っているが、社会保障関係費の増加により、近年、その決算額は上昇傾向にある。引き続き、毎年度の予算編成において、ゼロベースの視点に立ち返って見直すこと等により、更なる事務事業の再構築を図ることとしている。



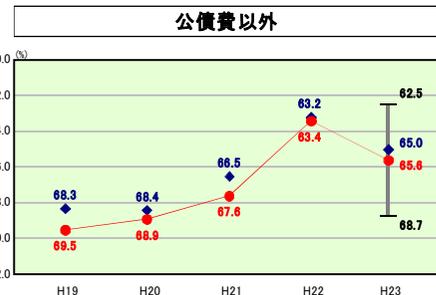
扶助費の分析欄
 扶助費に係る経常収支比率は、類似団体及び全国平均と同程度である。



その他の分析欄
 その他に係る経常収支比率は、類似団体及び全国平均をともに上回っている。本県は広大な面積に加え、積雪寒冷地であることから、除雪経費等が他団体に比較し多くなる傾向にあるものと考えられる。



公債費の分析欄
 公債費に係る経常収支比率は、類似団体及び全国平均をともに上回っている。これは、これまでの経済対策としての公共事業の追加や北海道・東北新幹線鉄道整備事業費負担金等を含む単独事業費が高い水準で推移してきたことに伴うものである。今後は、青森県行財政改革大綱に基づき、地方債の新規発行の抑制や公債費の平準化等により、将来の公債費負担の軽減を図りつつ、県債残高の圧縮に努めることとしている。



公債費以外の分析欄
 公債費以外の経費に係る経常収支比率は、類似団体を上回っている。これは、人件費、物件費等に係る経常収支比率が類似団体を上回っていることによるものである。

(4)-2 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

青森県

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



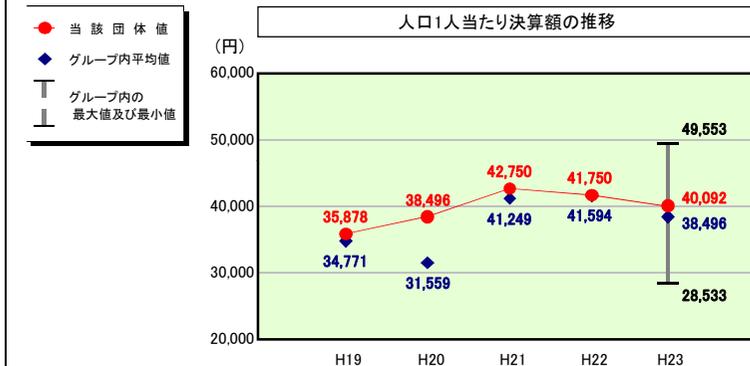
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	グループ内平均(円)	対比(%)
人件費	184,690,111	133,539	127,954	4.4
賃金(物件費)	952,164	688	512	34.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	498	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	-	-	0	-
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	2,272,174	1,643	1,865	▲11.9
▲退職金	▲18,633,546	▲13,473	▲11,915	13.1
合計	169,280,903	122,397	118,914	2.9

参考

	当該団体	グループ内平均	対比(差引)
人口100,000人当たり職員数(人)	1,379.21	1,367.28	11.93
ラスパイレズ指数	107.7	107.7	0.0

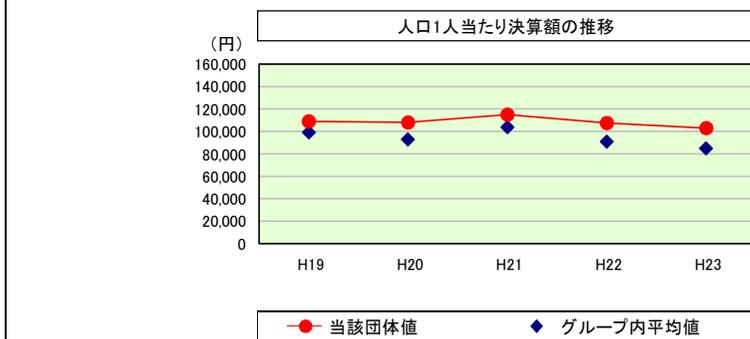
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	グループ内平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	115,841,171	83,758	71,520	17.1
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	2,705	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	2,825,837	2,043	8,828	▲76.9
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	2,791,626	2,018	1,613	25.1
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	133	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	4,123,834	2,982	2,853	4.5
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	10,927	8	18	▲55.6
▲特定財源の額	▲2,521,533	▲1,823	▲2,804	▲35.0
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲67,622,902	▲48,894	▲46,370	5.4
合計	55,448,960	40,092	38,496	4.1

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

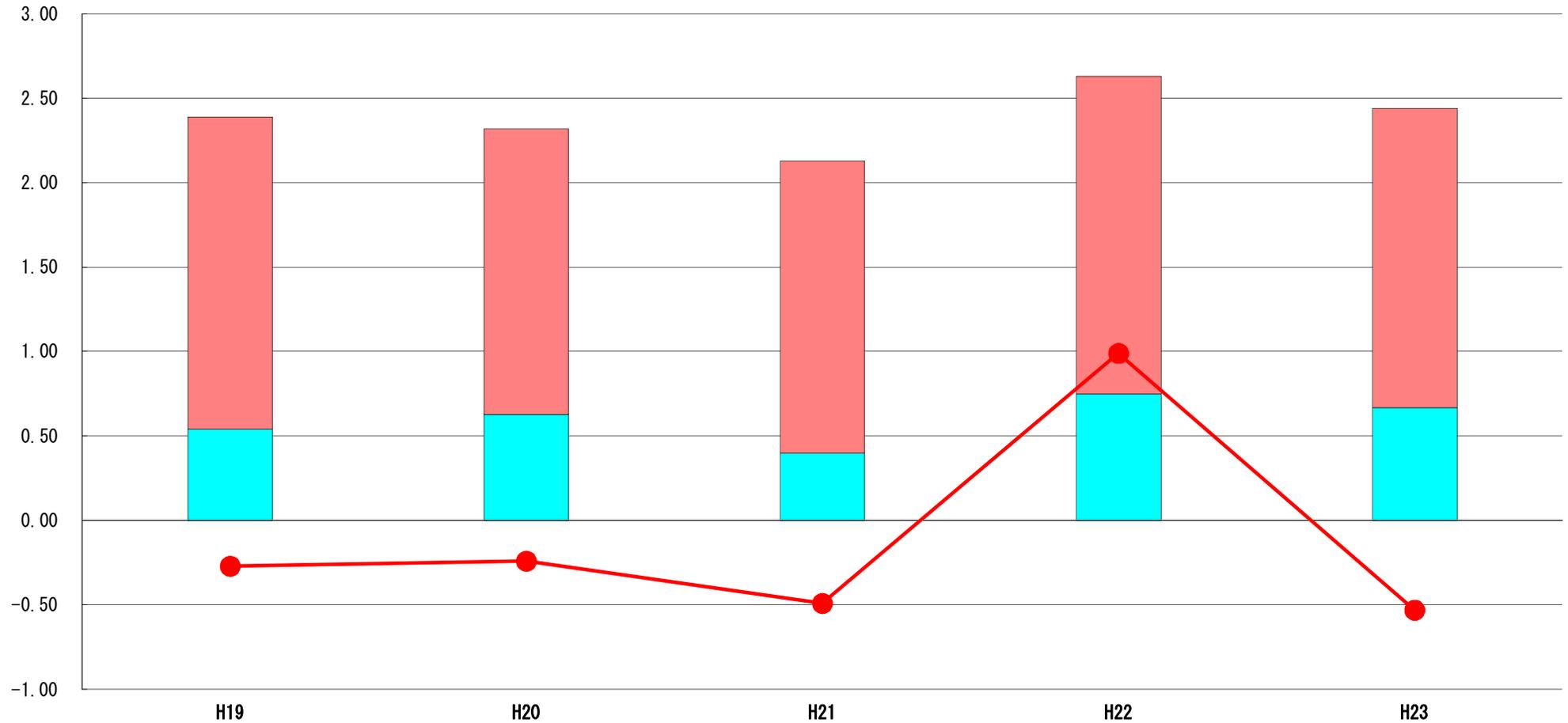
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	グループ内平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H19	155,938,719	109,007	▲1.9	99,248	▲15.1	13.2
うち単独分	66,273,207	46,327	▲6.1	31,007	▲20.7	14.6
H20	153,142,516	108,054	▲0.9	92,849	▲6.4	5.5
うち単独分	69,987,636	49,382	6.6	30,532	▲1.5	8.1
H21	161,623,805	114,991	6.4	103,730	11.7	▲5.3
うち単独分	73,574,699	52,346	6.0	34,978	14.6	▲8.6
H22	150,128,321	107,551	▲6.5	90,877	▲12.4	5.9
うち単独分	80,317,906	57,539	9.9	37,305	6.7	3.2
H23	142,459,956	103,005	▲4.2	84,976	▲6.5	2.3
うち単独分	57,398,440	41,502	▲27.9	26,480	▲29.0	1.1
過去5年間平均	152,658,663	108,522	▲1.4	94,336	▲5.7	4.3
うち単独分	69,510,378	49,419	▲2.3	32,060	▲6.0	3.7

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（都道府県）

平成23年度

青森県

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H19	H20	H21	H22	H23
 財政調整基金残高		1.85	1.69	1.73	1.88	1.77
 実質収支額		0.54	0.63	0.40	0.75	0.67
 実質単年度収支		▲ 0.27	▲ 0.24	▲ 0.49	0.99	▲ 0.53

分析欄

実質収支額は、いずれの年度も標準財政規模比で同程度の黒字となっている。

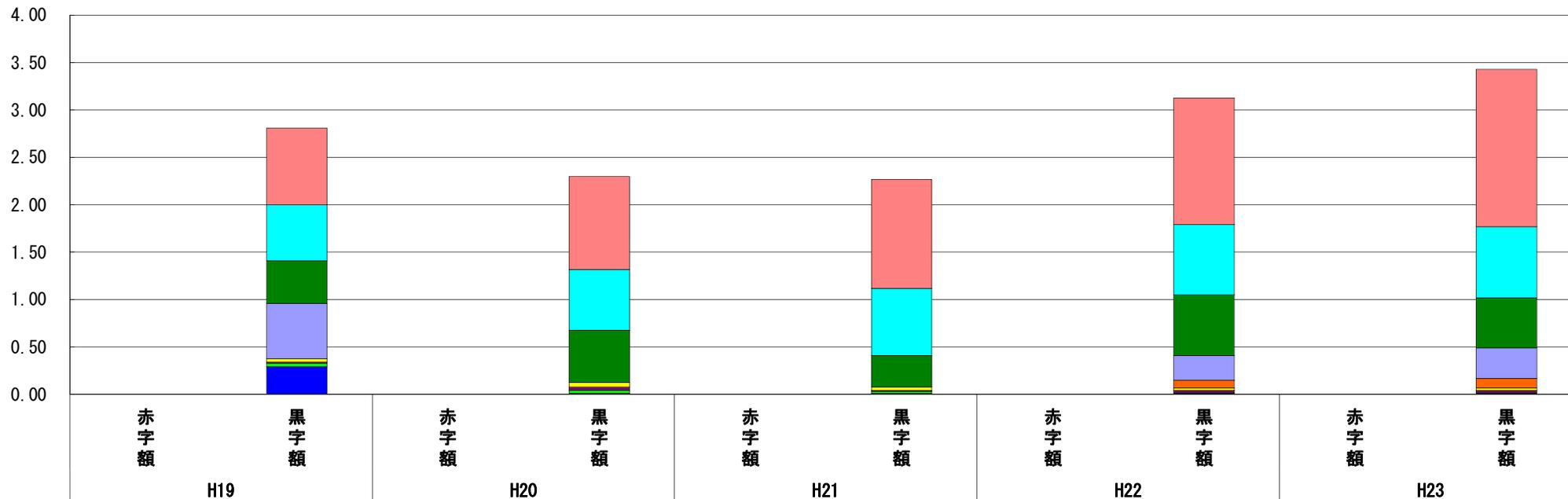
実質単年度収支は、平成22年度において黒字となっている。これは、依然として赤字要素である財政調整基金の取崩が生じている一方で、将来の公債費負担の軽減を図るため、黒字要素である繰上償還等を実施したことによるものである。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（都道府県）

平成23年度

青森県

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H19	H20	H21	H22	H23
青森県病院事業会計		0.81	0.98	1.15	1.34	1.66
青森県工業用水道事業会計		0.59	0.64	0.71	0.74	0.75
一般会計		0.45	0.55	0.33	0.64	0.53
青森県港湾整備事業特別会計		0.58	0.00	0.00	0.26	0.32
青森県鉄道施設整備事業特別会計		0.00	0.00	0.00	0.08	0.10
青森県証紙特別会計		0.04	0.05	0.04	0.03	0.03
青森県下水道事業特別会計		0.01	0.04	0.01	0.02	0.02
青森県管理特別会計		0.04	0.03	0.02	0.01	0.01
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.29	0.01	0.01	0.01	0.01

分析欄

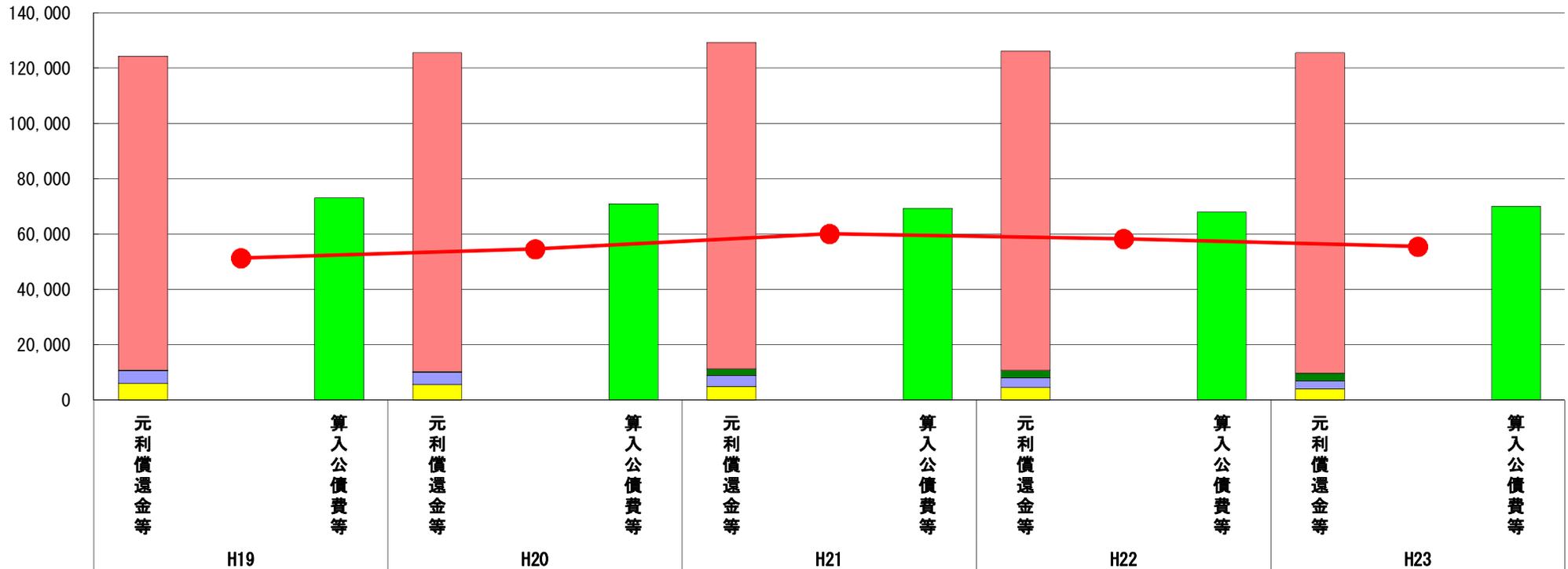
連結実質赤字比率は、いずれの年度も全ての会計において黒字となっている。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（都道府県）

平成23年度

青森県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
元利償還金等(A)	元利償還金		113,483	115,255	118,094	115,483	115,841
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		333	333	2,307	2,648	2,826
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		4,575	4,338	3,983	3,577	2,792
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		5,932	5,565	4,926	4,525	4,124
	一時借入金の利子		118	123	101	47	11
算入公債費等(B)	算入公債費等		73,115	71,054	69,324	68,003	70,145
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		51,326	54,560	60,087	58,277	55,449

分析欄

実質公債費比率の分子は、平成21年度まで増加傾向にあり、依然として高い水準にある。

これは、これまでの経済対策としての公共事業の追加や北海道・東北新幹線鉄道整備事業費負担金等を含む県単独事業費が高い水準で推移してきたことによるものである。

公債費負担適正化計画に基づき、普通建設事業費の重点化・計画的実施による県債発行の抑制及び低利資金の活用や調達年限の多様化による公債費の抑制を図り、平成24年度には実質公債費比率を18.0%未満とすることとしている。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

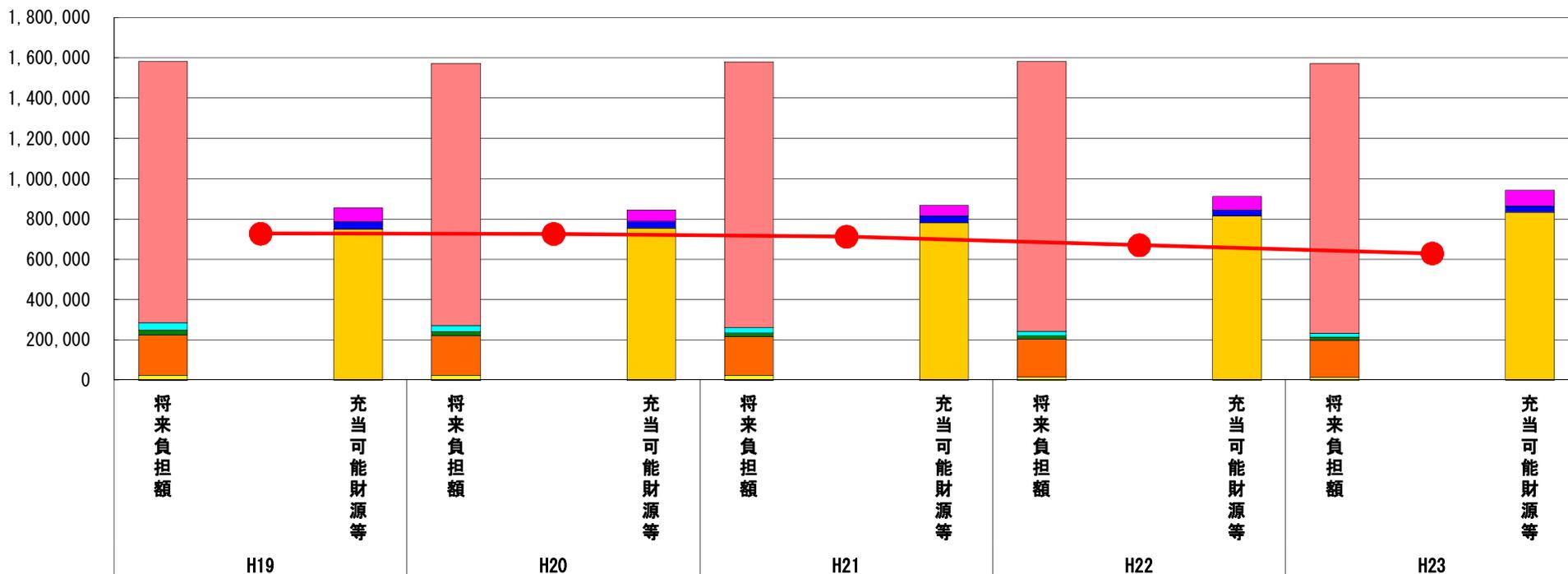
※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（都道府県）

平成23年度

青森県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		1,296,304	1,300,450	1,319,520	1,338,469	1,340,564
	債務負担行為に基づく支出予定額		38,485	32,224	27,082	22,459	17,337
	公営企業債等繰入見込額		23,764	19,719	18,056	16,917	16,212
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		198,071	194,347	190,620	187,440	185,738
	設立法人等の負債額等負担見込額		25,028	25,214	25,431	16,688	13,193
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		1,393	1,385	666	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		68,338	57,160	53,038	65,737	77,706
	充当可能特定歳入		37,629	33,302	32,334	29,863	31,110
	基準財政需要額算入見込額		749,848	756,403	783,348	816,038	834,721
(A) - (B)	将来負担比率の分子		727,228	726,476	712,655	670,335	629,506

分析欄

将来負担比率の分子は、減少傾向にある。
 これは、一般会計等に係る地方債の現在高は増加しているものの、このうち地方交付税に全額算入される臨時財政対策債を除いた地方債の現在高は減少傾向となっているほか、退職手当負担見込額等も減少傾向にあることによるものである。

引き続き、地方債の新規発行の抑制、元金ベースでのプライマリーバランスの黒字幅の維持・拡大等により、地方債現在高の累増に歯止めをかけることとしているほか、定員適正化により退職手当負担見込額の抑制等将来負担額の減少に努めることとしている。